

道徳だより

令和7年5月30日発行

1年

題材名：サッカーの漫画を描きたい

ねらい：夢をもつことで、前向きに挑戦を続け、困難や失敗を乗り越えていけるように、目標に向かって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。

高橋陽一さんは、自分の夢でもあり、翼の夢でもあることをつぶしたくもないし、なにより読者の希望をつぶさないようにしたいと思い、厳しい試練に耐えられたと思う。（1組）

私は夢、目標を持ち自分の選んだ道を進み続けた高橋さんを尊敬します。私は、明確な夢や、こんな人になりたいということがまだ分からないので、私も何かに挑戦してみてもう、夢をもちたいと思いました。夢を見つけたら、そのことにしっかりと向き合っていき、高橋さんのようになりたいです。（3組）

私は、夢を追い続けるためには「やめたくない」という気持ちをもつことが大切だと思いました。わけは、「やめてもいい。」と少しでも思っていたら、困難にぶつかったときに諦めてしまうからです。なので、「やめたくない」と思うことで、本気を出せるようにすることが大切だと思いました。（2組）

2年

題材名：挨拶は言葉のスキンシップ

ねらい：形だけでなく相手を尊重する心が挨拶の本質であり、その心を挨拶によって届けることで、円滑な人間関係が築けることの自覚を通して、時と場に応じた言動をとろうとする実践意欲を育てる。

相手の目をしっかり見て、笑顔で挨拶することが大切だと思いました。相手の目を見ることで、相手に敬意や想いが伝わりやすくなるし、笑顔ですること、相手に安心感を与えることができ、自分も親近感や気分が上がるからです。私は朝眠くてただ挨拶している時が多いので、これらのことを意識して学校生活に活かします。（1組）

マニュアル通りじゃない挨拶は、相手のことを思いやって、その場に応じた挨拶だと思います。声のトーンを明るめにする、笑顔ですなどの工夫も大切だと思いました。職場体験では、相手が気持ちよくなるような挨拶を心がけたいです。（2組）

なぜ挨拶は大切なのかというと、良い関係を作るため。相手に気持ちを伝えることができるし、嬉しくなってもらえるからです。（3組）

3年

題材名:あるレジ打ちの女性

ねらい:仕事のすばらしさややりがいは、仕事と自分自身、相手、社会それぞれとの関係から多様に見いだせることを自覚し、自分の能力や個性を生かした働き方をしようとする実践意欲を高める。

・嫌なことがあってもすぐにそのことをやめてしまうのではなく、自分なりに楽しいと思えるように工夫することが大事だと思った。逃げてばかりいても何も変わらないので、続ける努力をできるようにしたい。楽しむ心を忘れずに何でも頑張りたい。(2組)

・レジ打ちの女性の話を聞いて、仕事が自分を楽しませるのではなく、自分自身で楽しくすることが分かったし、お客さんのことをよく知ろうとしたり、その人のために思ったりしながら仕事をするのが大切だと気づくことができました。なので、自分もこのような人になれるよう、頑張っていこうと思います。

(2組)

・ほかの人の役に立つことと、自分のやりがいを大切にしていきたい。自分がやりがいを感じられているのは、他人から自分が必要だとされていると感じられるときだと思うので、ほかの人の役に立つからこそ感じられることはたくさんあると思いました。(1組)

・自分のやりがいを大切にしていきたい。自分のやりがいがなかったら仕事をしたいという気持ちがわからないと思うから。また、他人の役に立つことも大切だと思う。自分だけが楽しければいいわけじゃなくて、みんなが楽しめるのが大切だからだ。(1組)

・仕事をただやるのではなく、意味を見つけてすることが大切だと学んだ。自分を成長させるために、いろいろな考え方ができるようになる必要があると思う。(3組)

・レジ打ちの女性のように、仕事は自分が変わるきっかけになったり、自分の成長につながったりするものだった。(3組)

